

Q&A

ステージ I 実施について

実施する際の申請手続きは？

検定実施計画書を実施 1 週間前までに提出してください。(SIA ホームページ各種申請書からダウンロードできます)

検定会の開催場所はどこでできますか？

実施する公認スキー学校の拠点スキー場（協会登録）、又は移動教室届けのある国内スキー場になります。当該公認校に検定員がない場合は、近隣の公認校に依頼してください。近隣に検定員が不在の場合、所属する支部に開催を依頼することは可能です。

実施する検定員の条件は？

アルペン・スノーボード・テレマークのステージⅣ以上の資格保持者（活動会員） 1 名以上で担当します。

実施可能な条件としては、上記の資格保持者でイグザミナーセミナーやインストラクターズセミナーに参加した方となります。セミナーに参加した年の期とその次の期（合計 2 期）検定員を務めることができます。

検定員の費用は？

自校で行う場合は自校内の基準で、近隣の公認校に検定員を依頼する場合は、相手方と相談の上決めてください。

支部にて行う場合は、検定実施の主旨を理解したうえで利益追求に向かう事がないよう配慮をしてください。

受験資格は？

当該公認校で働くことを目的としている方を対象としています。(有資格者による健全な学校運営を推進するための制度になります)

アルペン・スノーボードはセミシルバー以上、テレマークはブロンズ以上、または他団体の同程度の技術を有する方で 19 歳以上（高校在学者は除く）が受験可能になります。

合格後の手続きは？

認定会員申込書に記入捺印の上、S I A 事務局へ提出してください。

あわせてその年度の認定会員年会費を納入してください。(銀行振込、現金書留いずれも可)

手続きが終了後、合格者は SIA 会員総合補償制度への加入となります。

外国人も受けることができますか？

スタッフとして雇用することを目的とした上での受験ができます。在留資格「特定活動」（スキーインストラクター）の申請については出入国在留管理庁の情報をご確認ください。

※詳細はステージ I（認定会員）実習資料をよくお読みください

SIA 教育部 資格委員会

ステージ I（認定会員）実習資料

SIA が目指すステージ I

1. SIA の指導：公認校の監督の下、『安全』を第一に指導し、スノースポーツの楽しさを伝える。指導対象は初心者から初級者までとする。
2. SIA の滑り：いかなる自然状況でも安全に滑るスキー操作を目指す。

ステージ I の目的

1. 現場のニーズにあわせたスノースポーツ教師の育成
2. 公認校で働く無資格のスタッフ（国籍問わず）に対し、有資格者として働く健全な公認校の運営

ステージ I 検定内容

●検定開催について

- ◆ステージ I 検定実施を希望する公認校、又は支部は事前に検定実施計画書を教育部長に 1 週間前までに提出する

●検定開催場所について

ステージ I の目的に則り以下の場所にて開催をお願いいたします。
検定員条件に満たした者がいない場合は、近隣の公認校に依頼してください。
近隣に検定員が不在の場合、所属する支部に開催を依頼することは可能です。

- ◆協会登録公認スキー学校届け出のスキー場、又は移動教室届けのある国内スキー場

●検定員について

- ◆AP, SB, TM ステージIV以上の資格保持者 1 名以上で担当（活動会員）
- ◆イグザミナーセミナーやインストラクターズセミナーに参加した者
- ◆検定年度の SIA 認定スノースポーツ教師検定規程、検定実施要項確認の事
- ◆セミナーに参加した検定員は、参加した年を含め 2 期検定員を務めることができます
(2021 年 12 月のセミナーに参加した場合、2 期＝～2023 年 9 月まで
2022 年 12 月のセミナーに参加した場合、2 期＝～2024 年 9 月まで)

●受験資格について

- ★AP 国際スキー技術検定セミシルバー以上、または他団体同等以上
(公益財団法人全日本スキー連盟公認スキーバッジテスト 3 級以上) の合格者
- ★SB スノーボード技術検定セミシルバー以上、または他団体同等以上程度
- ★TM テレマークスキー技術検定ブロンズ以上、または他団体同等以上程度
- ※SB、TMは各検定レベル程度で受験可

●実技実習・検定【雪上】内容【4 時間（検定時間含む）】

- ★AP合格60点以上
(セミシルバー基準を、余裕をもって合格するがその上のメダルには届かない程度)
- ◆プルークボーゲン
- ◆シュテムターン（フォールライン後の引き寄せ、ストック無し）
- ◆ロングターン（ステージ I ロングターン）

★S B合格60点以上

(セミシルバー基準を、余裕をもって合格するがその上のメダルには届かない程度)

◆初歩のターン ◆スライディングターン・ロング ◆スライディングターン・ミドル

★TM合格60点以上

(ブロンズ基準を、余裕をもって合格するがその上のメダルには届かない程度)

◆TM斜滑降 ◆ベーシックロングTMターン ◆シュテムTMターン

●指導実習【机上・雪上】内容【4時間】

★A P ◆初心者の指導

★S B ◆初心者の指導

★T M ◆初心者の指導

実技・指導の資料

A P 教程パート1アルペンスキーテクニック パート2スキーの指導

S B パート4 スノーボード

T M パート6 テレマークスキー

●基礎理論【机上】内容【2時間】

◆SIAとは SIAの理念【P4】SIA会員の心得【P5】SIAの歴史【p202-P205】

◆指導の基本【P50-P53】

◆リスクマネジメント【P163表1】

◆学校団体の指導【P74-P75】

ステージII共通科目「教師の心得」WEB講習は利用可能です。

<https://www.youtube.com/watch?v=9UJYYF46K3g>

その他、各学校で必要な教師の心得の講義を追加して下さい。

【その他】

・各種目のステージIV有資格者（活動会員）以上が指導および検定を行い、校長が証明する。

例：校長がアルペンスキー資格のみの場合

スノーボードやテレマークスキー有資格者の指導および検定を受けたうえで校長が証明する。

・検定員の費用について

自校で行う場合は自校内の基準で、近隣の公認校に検定員を依頼する場合は、相手方と相談の上決めてください。

支部にて行う場合は、検定実施の主旨は利益追求に向かう事ではないため、実費でお願いします。

・合格手続き

所定の合格手続き申込書に記入捺印の上、SIA事務局へ提出する。

その年度の認定会員年会費を納入する。（銀行振込、現金書留いずれも可）

・合格者は、SIA会員総合補償制度に加入となります。

認定会員申込書と年会費到着後（※）に保険適用となります。

※毎週水曜日〆切。翌週月曜日から適用。

・公認校におけるステージI検定は、外国人に対してビザの発行等を前提に学校が利益を得るためではなく、スクールで働くスタッフが無資格ではなく有資格として働く健全な学校運営を目的とします。そのことを重ねてお願いいたします。

・その他、SIA認定スノースポーツ教師検定規程、認定会員規程に準じる。

認定会員ステージⅠ検定会 実施計画書

スキー学校名	
種 別	() アルペンスキー () スノーボード () テレマークスキー
会 場	
開催日	年 月 日
検定員	
内容	

参加者

	氏名	資格	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

年 月 日

■ステージⅠ検定会（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）

【受検会費】 検定料 無料（支部で開催する場合は別途実費）

- 【受検資格】 ① 受検を開始する年の4月2日から翌年4月1日迄に、19歳以上になる者（高校在学者は除く）で、これからスノースポーツ教師（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）になろうとする
 ② AP 国際スキー技術検定セミシルバー以上の合格者、又は他団体同等以上の検定合格者。
 SB スノーボード技術検定セミシルバー以上の合格者、又は同等程度以上の技術を有する者。
 TM テレマークスキー技術検定ブロンズ以上の合格者、又は同程度以上の技術を有する者。
 ③ 公認スキー学校、又は支部における、実技実習（4時間）、指導実習（4時間）、基礎理論（2時間）の講習修了証明書を提出できる者。
 ※正会員・認定会員（他種目の有資格者）は、基礎理論（2時間）を免除。
 ※実習等のスケジュールは、各公認校において計画運営を行ってください。

【受検手続】 ④ 公認スキー学校長の所属証明書を提出できる者。
 ① 所定の書類に自筆で記入し、捺印の上、上半身の写真（2.4cm × 3cm）を添付し、公認スキー学校長に提出する。

- 【合格手続】 ※写真は、正面・無帽・6か月以内に撮影したもの。裏面には、氏名を記入すること。
 ① 認定会員合格者は、所定の認定会員申込書に記入捺印の上、年会費6,000円とともに提出する。（銀行振込、現金書留いずれも可）
 ※正会員・認定会員（他種目の有資格者）は年会費不要。
 ② 合格者の年会費は、その年度（10月1日～翌年9月末日）分とする。
 ③ 会長は、合格した者に会員証を交付する。

- 【実技検定】 合格基準 各種目60点以上
 <アルペンスキー・ステージⅠ>
 ① プルークボーゲン ② シュテムターン ③ ロングターン
 <スノーボード・ステージⅠ>
 ① 初歩のターン ② スライディングターン・ロング ③ スライディングターン・ミドル
 <テレマークスキー・ステージⅠ>
 ① TM斜滑降 ② ベーシックロングTMターン ③ シュテムTMターン

- 【その他】 ① 合格後の協会登録住所は日本国内とします。指定のない場合は、所属する公認校といたします。
 ② 今回ご入金いただいた年会費は今年度分となります。次年度からは年1回、毎年9月末日までに納入してください。年会費未納の場合は資格の喪失に至りますので、ご注意ください。
 ③ 合格者は、SIA会員総合補償制度に加入となります。入会申込書と年会費到着後（※）に保険適用となります。 ※毎週水曜日ㄹ切。翌週月曜日から適用。

受検者 手続チェックリスト

<input type="checkbox"/>	① 認定会員申込書の「■受検者記入欄」に自筆で記入し、捺印の上、上半身の写真（2.4cm × 3cm）を添付する。
<input type="checkbox"/>	② 技術検定合格証（上記【受検資格】②に該当するもの）のコピーを入会申込書の裏面に添付する。（APは必須）
<input type="checkbox"/>	③ ※外国籍の場合 パスポートのコピーを入会申込書の裏面に添付する。
<input type="checkbox"/>	④ 認定会員申込書を公認スキー学校長に提出する。

公認スキー学校 手続チェックリスト

<input type="checkbox"/>	① 認定会員申込書の「■検定員記入欄」に検定の結果を記入する。
<input type="checkbox"/>	② 認定会員申込書の「■公認スキー学校記入欄」に記入し、捺印する。
<input type="checkbox"/>	③ 認定会員申込書を協会に提出する。 ※合格者のみ
<input type="checkbox"/>	④ 合格者について、年会費（6,000円）を納入する。 ※正会員・認定会員（他種目の有資格者）は不要。

公益社団法人 日本プロスキー教師協会 ステージ I
認定会員申込書

■ 受検者記入欄	ふりがな			男 ・ 女	写真及び捺印の無いものは無効 写真 3×2.4	
	氏名	印 (外国籍の場合sign可) signature				
	生年月日	西暦	年 月 日	現在		才
	所属公認学校名					
	現在のSIA資格	() なし () 認定会員 (他種目のステージI) () 正会員 (他種目のステージII以上)				
	国籍	※外国籍の場合、下記の旅券番号 (Passport NO.) について記入すること				
	旅券番号 Passport NO.	有効期間満了日 西暦 年 月 日				
	合格後の 協会登録住所 (自宅等) ※日本国内とする	〒 - - 電話 (- -)				
	携帯電話	- -				
	E-mail					
種目	() アルペンスキー	() スノーボード	() テレマークスキー			
取得メ ダル等	国際スキー技術検定 () スーパーゴールド () ゴールド () セミゴールド () シルバー () セミシルバー	スノーボード技術検定 () ゴールド () セミゴールド () シルバー () セミシルバー	テレマークスキー技術検定 () ゴールド () シルバー () ブロンズ			
	全日本スキー連盟 () クラウン () テクニカル () 1級 () 2級 () 3級	全日本スキー連盟 () 1級 () 2級 () 3級	日本テレマークスキー協会 () レベル4 () レベル3 () レベル2 () レベル1			
		日本スノーボード協会 () TECH.3 () TECH.2 () TECH.1 () 1級 () 2級 () 3級				

■ 検定員記入欄	実施日					
	会場					
	検定員					
	実技検定 (合格基準 各種目60点以上)	アルペンスキー	スノーボード		テレマークスキー	
		ブルークボーゲン	初歩のターン		TM斜滑降	
		点	点		点	
		シュテムターン	スライディングターン・ロング		ベーシックロングTMターン	
		点	点		点	
	ロングターン	スライディングターン・ミドル		シュテムTMターン		
	点	点		点		
合・否	合・否		合・否			

■ 公認スキー学校記入欄	公認スキー学校所属証明書 実技・指導実習修了証明書 実技検定合格証明書				
	上記の者は、当スキー学校に所属し、所定の実技(4時間)・指導実習(4時間)・基礎理論(2時間)を修了し、実技検定に合格していることを証明いたします。				
	年 月 日				
	実技・指導実習 担当者名：				印
校長名：				印	

SIAの理念

1. 公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下SIAという）は、スキーをはじめとするあらゆるスノースポーツの技術指導を目的とした、我が国唯一の専門家（プロフェッショナル）集団である。
2. SIAは、スノースポーツの指導にあたり、「安全なスノースポーツをSIA」をモットーに掲げ、老若男女を問わず、健常障害者を問わず、すべての人々が生涯を通して、「安全にスノースポーツを楽しむ為」に技術並びに指導法を練磨し、用具の開発と装備の充実、そして環境保全を追求する事を目的とする。
3. SIAは、国内外に於て、スキーをはじめとするあらゆるスノースポーツの指導者たちとの連携を図ると共に、他のスポーツ諸団体との友好親善関係を構築し、我が国の正しく健やかな青少年育成の為に、奮励努力する事を目的とする。

SIAの心得

1. SIAに所属するすべての会員は、大自然の類い稀なる美しさと厳しさを良く認識し、大自然と共に生きる事は人類共通の掛け替えの無い貴重な現実である事を理解し、その重要性を広く後世に伝える為、啓蒙活動を積極的に行う。
2. SIAの会員は、前項の目的を達成する為に選び抜かれた精鋭である事を自覚すると共に、スキーを始めとするあらゆるスノースポーツの技術指導が、すべての人々の人生を、より広く、より深く、より楽しく、より豊にする為の「手段」として最良のものである事に留意する。
3. SIAの会員は、あらゆるスノースポーツの技術並びに指導法に優れていると同時に、我が国の社会を構成する一国民として、歴史、政治、経済、教育、芸術等の、あらゆる分野に通暁した有能なる日本人を目指して研鑽する。
4. SIAの会員は、スキー場を中心とする地域社会の人々と積極的に交流を深め、地域社会との共存共栄の道を真摯に模索し、地域の活性化に貢献努力する。